

民生委員・児童委員

地域の身近な「相談」「つなぎ」役です

図福祉政策課 ☎43-9258

八戸市では、約500人の民生委員が各町内で活動しており、その役割から地域住民の相談役・つなぎ役とされています。

- **相談役**…悩みごとや生活上の心配ごとなど、さまざまな相談を受けています
 - **つなぎ役**…相談を受け、行政や関係機関などの支援やサービスへつないでいます
- では、どんな人が、どんな活動をしているのでしょうか。下長地区民生委員児童委員協議会の小田町内の担当、河村君子さんからお話を伺いました。



同町内で活動する
河村君子さん(左)、織田ちた子さん(右)



地域の皆さんの笑顔を見て、さらに活動を頑張ろうと思いました。

民生委員になったきっかけは？

前任者の退職をきっかけに、町内会長から推薦をいただきました。当時は40歳代で、仕事や家事、子育てで多忙でしたが、他の民生委員さんからのサポートや、家族に応援してもらいながら、活動をスタートしました。

どんな活動をしていますか？

1人暮らし高齢者が増えてきたので、同じ町内で活動する織田ちた子さんと分担し、地域で孤立しないよう見守り訪問をしながら、相談相手になっています。

織田さんをつくった連絡網は、住民の皆さんとお互いに「つながっている」安心感がありますね。

その他、町内会とも協力し、敬老会を開催しています。準備が大変ですが、閉じこもりがちな高齢者がたくさん集まり、笑顔で帰る姿をみると、次も頑張ろうという気持ちになります。

民生委員をやってみてよかったことは？

民生委員は「皆さんに頼られてこそ」です。初回訪問で迷惑そうな顔をされていた人も、何度かお会いしていると和やかな雰囲気になり、今では私を頼りにしてくれています。とても嬉しく感じます。

何よりも、元気で明るい町内の皆さんをはじめ、志を共にする民生委員仲間と出会うことができ、たくさんの元気をもらいながら、また助けられながらも日々活動できると、感謝しています。



下長地区会長
中嶋幸一郎さん

下長地区の中嶋会長から地区や民生委員のお話を伺いたと思います。



下長地区は内舟渡から高館にかけて、また石堂や河原木団地など、全16町内を31人で受け持っている規模の大きな地区です。民生委員同士の交流も盛んに行われており、みんなで助け合いながら活動しています。月に一度の定例会では、地域住民の困りごとや、行政機関からの最新情報を共有したり、さまざまな問題や課題について話し合いを行っています。



河村さんは、誠実で明るく、周囲を元気にしてくれる人です。25年以上民生委員として活動し、地域の皆さんにとても頼りにされており、昨年は八戸市功労者表彰を受賞しました。

これからもご活躍されることを楽しみにしています。
最後に一言お願いします。



民生委員には守秘義務がありますので、個人情報には必ず守ります。
皆さんには安心して相談してほしいです。



下長地区の定例会の様子

河村さんのように、民生委員として地域のために活動してみたい、福祉に関する困りごとでお近くの民生委員を知りたい場合は、お問い合わせください。



詳しくは
こちら